

大阪医療センターをご利用くださる先生方へ

Osaka National Hospital News



独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターニュース

No. 76

令和4年7月

このニュースは、年4回、
大阪医療センターの最新情報をお届けいたします。
詳しいお問い合わせは
地域医療連携室までお寄せください。



目次

地域医療連携室より

- ・ 新任及び退職医師のお知らせ 2
- ・ 講演会のご案内 2

病院のトピックス

- ・ 放射線治療装置（リニアック）の更新について ... 3
- ・ 手の外科クリニック新設のお知らせ 5
- ・ 令和4年4月着任医師紹介：口腔外科 6
- ・ 病院救急救命士の始動と活動について 7
- ・ 予約方法について 8
- ・ 診療科及び地域医療連携室の紹介 9
- ・ 脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内 ... 10
- ・ 大阪医療センター公式ページについて 10
- ・ がん相談支援センターのご案内 11

独立行政法人 国立病院機構 **大阪医療センター**

地域医療連携室 令和4年7月発行 76号

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

TEL.06-6946-3516

☎ 0120-694-635

FAX.06-6946-3517

[HP] <https://osaka.hosp.go.jp>

[E-mail] 408-comonh@mail.hosp.go.jp

～ 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの理念～

私たち、独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの職員は、

- 1、医療に係わるあらゆる人々の人権を尊重します。
- 2、透明性と質の高い医療を、分け隔て無く情熱をもって提供します。
- 3、医学の発展に貢献するとともに良き医療人の育成に努めます。
- 4、常に向上心をもって職務に専念し、健全な病院運営に寄与します。

～理念に基づいた病院の基本方針～

—— 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの診療・研究・教育方針 ——

1) 政策医療の推進

- ・基幹医療施設としての「がん」「心・大血管疾患」「脳卒中」「糖尿病」等、高度総合医療の実施
- ・HIV/AIDS先端医療の推進（近畿ブロック拠点病院）
- ・3次救急医療と災害医療の推進（西日本災害医療センター）
- ・専門医療と総合診療の充実
- ・医療機関の機能分担の推進と地域医療への貢献（地域医療支援病院）



- 正しく
- 品よく
- 心をこめて

2) 高度先進医療への貢献

- ・技術開発：先進的医療の基盤となる技術の研究開発とその臨床応用の確立
- ・臨床研究：病因の解明、診療治療法の開発等の臨床並びにその基礎となる研究の実施
- ・臨床試験の推進：治験を含む臨床試験の円滑な実施とその管理・支援

3) レベルの高い医療人を育成

- ・卒前教育：医療系教育施設と連携した教育活動と実習生の受入
- ・卒後研修：初期臨床研修医及び後期臨床研修医（専修医）等、卒後の医療技術者の育成
- ・専門職の育成

4) 情報開示と情報発信

- ・透明性を保った情報の開示・発信

新任及び退職医師のお知らせ

新任医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R4. 7. 1	医師（乳腺外科）	赤澤 香	採用
R4. 7. 1	専攻医（消化器内科）	伊藤 典明	採用
R4. 8. 1	専攻医（外科）	松井 雅貴	採用
R4. 9. 1	専攻医（糖尿病内科）	渡會 皓介	採用
R4. 10. 1	下部消化管外科医師	徳山 信嗣	採用

退職医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R4. 6. 30	医長（整形外科）	北野 元裕	退職
R4. 6. 30	医長（整形外科）	宮本 隆司	退職
R4. 6. 30	医師（整形外科）	峠 憲太郎	退職
R4. 6. 30	医師（乳腺外科）	水谷麻紀子	退職

講演会のご案内

開催日時	件名	内容	対象者
令和4年11月19日(土)	第56回法円坂地域フォーラム	講演担当科：放射線治療科	医師及び医療従事者 ※開催場所： 大阪医療センター 災害医療棟3階講堂
令和5年3月11日(土)	第57回法円坂地域フォーラム	講演担当科：整形外科	医師及び医療従事者 ※開催場所： 大阪医療センター 災害医療棟3階講堂

開催場所 大阪医療センター 緊急災害医療棟3階講堂

アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅①号出口すぐ

問合せ 地域医療連携室（電話：06-6946-3516）



放射線治療装置(リニアック)の更新について

放射線治療科科长 田中 英一



昨秋、約9年間使用した放射線治療装置（リニアック）の不具合により使用停止となる事態に陥りました。当院で保有しているリニアックは1台のみのため、長期間、外部放射線治療ができなくなる事態となり、患者さんはもちろんのこと、関係する先生方にも多大なご迷惑をおかけしております。

予定外の装置更新となり、現場スタッフは、リニアック本体の機種選定、治療計画用CT装置や線量測定器具など周辺機器の選定をあわただしく進めることとなりました。通常であればリニアックのような大型かつ高額な医療機器の更新は十分な時間をかけて計画、導入します。新装置がいつ納入されるのか、旧装置の撤去工事をいつから始めるのか、旧装置での治療をいつ停止するのかなど

綿密な計画のもと作業をすすめます。今回は、リニアックが使用停止になったところから突然作業が始まりました。そこで業者から説明されたことが、「リニアック装置は注文を受けてから米国で製造するため、装置の納入までに6か月かかる」ということです。しかも、「コロナ禍により世界中で半導体の不足がおこっており、様々な物流も停滞しているので、納入が大幅に遅れるかもしれない」ということでした。さらにその後、ウクライナの問題も発生し、ヨーロッパ製の機器の納入が遅れることになり、いったいいつになったら治療が再開できるのかやきもきする日が続きました。幸い、当初の予定通りリニアック本体は4月に届き、周辺機器はいまだ納入されないものもありますが、治療が再開できる見通しが立っています。

「新しいリニアック Varian社製True Beam」



リニアック装置は、設置が終了したらすぐに使用できるものではなく、装置ごとの特性を見極める必要があります。様々な線量測定作業をおこない、そのデータを治療計画専用コンピュータに登録する作業が必要です。その作業量は膨大なため約3か月必要で、9月初めに治療が再開できる見込みです。

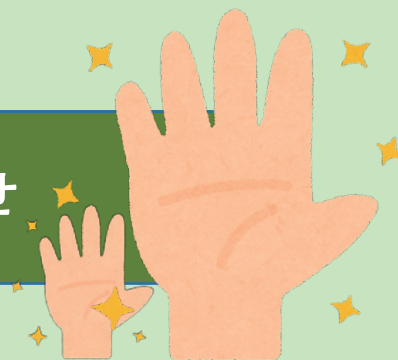
新しいリニアックは、Varian社の「True Beam」という機種になります。強度変調放射線治療（IMRT）や定位放射線治療、画像誘導放射線治療といったいわゆる高精度放射線治療が可能です。特に、転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療については、複数個の転移病変を同時に照射することができるシステムになっており、治療時間の大幅な短縮や旧装置では5個程度までの病変が治療適応であったものが10個程度までに適応拡大されます。

リニアック室は放射線が室外に漏れ出ないように、部屋の壁は分厚いコンクリートでおおわれており、窓がない構造となっています。そのため無機質な空間になりがちですが、今回、窓があるかのように部屋の入り口には桜の季節の大阪城を、また天井には青空が見える天窓があるかのように疑似窓を取り付けました。これで患者さんを少しでも癒すことができればと思います。

大阪医療センターの新しい放射線治療にご期待ください。



手の外科クリニック新設のお知らせ



拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より多くの患者様をご紹介頂きありがとうございます。

このたび大阪医療センター整形外科に「手の外科クリニック」を新設致しました。
担当は行岡病院にてご活躍されてきた平成13年卒の有光小百合先生です。

専門領域は上肢で、骨折（橈骨遠位端骨折、前腕骨骨折、肘関節周囲骨折、上腕骨骨折、指節骨骨折など上肢全般）、脱臼、腱損傷を始めとする外傷、手根管症候群や肘部管症候群といった絞扼性神経障害、手関節疾患全般に対応させていただきます。母指CM関節症、舟状骨偽関節、キーンベック病、TFCC損傷といった専門的加療が必要な疾患、手指関節痛に関しては関節リウマチや更年期関節炎、変形性関節症の鑑別および治療まできめ細やかに行います。適応患者様がおられましたら是非ともご紹介のほどよろしくお願い申し上げます。

当科はより安全安心な医療を患者様に提供できるよう、一層注力していく所存でございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

敬具

令和4年7月吉日



有光小百合

ぜひよろしくお願いいたします！！！！



令和4年4月着任医師紹介: 口腔外科

吉本 仁

この4月に大阪医療センター口腔外科に科長として赴任してまいりました吉本と申します。

栃木県立がんセンター頭頸科、大阪歯科大学附属病院口腔外科そして松下記念病院口腔外科を経て現在に至ります。在籍したそれぞれの施設で口腔癌を中心に口腔外科疾患の治療に携わってきました。

大阪医療センター口腔外科はこの十数年間を口腔癌治療に力を入れており、私のこれまでの経験や技術を活かせると確信しております。元来、口腔癌は癌全体の1-2%程度の発生率でしたが、日本人の高齢化にともない口腔癌患者が増加傾向にあります。また数年前に芸能人が舌癌に罹患したことが報道されてからはその認知度もあがっています。しかし、口腔癌の治療をおこなっている専門的な施設が少ないのが現状です。口腔癌の根治的治療はまず外科的切除で、切除後に補助療法として放射線療法、化学放射線療法を行うというの

が標準治療になりますが、その標準治療を軸に患者背景等も考慮して治療計画を立案していくよう心がけていきたいと考えております。

口腔外科領域の疾患では高齢化により口腔癌だけでなく習慣性顎関節脱臼も増加しています(特に認知症患者に多く見られます)。

以前に在籍していた松下記念病院では口腔癌だけでなく習慣性顎関節脱臼の手術治療にも力入れていました。ニーズがあれば習慣性顎関節脱臼の手術治療も行いますのでお困りの症例があればお声掛けいただけますようお願い致します。



吉本 仁

よろしくお願いいたします！！！！

病院救急救命士の始動と活動について

救急救命士 和田 広大



大阪医療センターは新たに救急救命士が採用され、4月より3人体制となりました。

みなさんの救急救命士のイメージは、「救急車に乗り、傷病者を病院に搬送する」といった方がほとんどだと思われます。

昨年、10月に改正救急救命士法が施行されました。法改正までは、プレホスピタルケア（病院前救護）のみの対応であったため、医療機関内で活躍することができませんでした。しかし、この法改正により、搬送された傷病者が入院に至るまで救急救命士法の定める救急救命処置を行うことができるようになりました。それにより、救急救命士が医療機関内でも活躍することができるため、当院でも救急救命士を採用し、救急医療の発展と、当院救急車を活用した、地域医療機関様との連携をより強化したいと考えております。

現在、当院のご紹介時は、タクシーでの来院や市の救急車にて来院されていると思われます。状態が非常に悪い患者様に関しては、市の救急車を

活用し、搬送に至ると思います。

しかし、そこまで患者様の状態は悪くなく、市の救急車を呼ぶまでもないが、すぐに当院に受診してほしい。といった患者様のご紹介時は、当院から病院救急車を出動させ、当院救急救命士（時には医師も同乗）が同乗し、お迎えに行かせていただくことで、搬送中の状態観察も可能とし、患者様を安全に搬送することができるよう体制を整えているところです。



近年、こういった病院救急車ででの転院搬送が様々な医療機関様で増えてきていると思われます。そのようなニーズに賛同し、かつ当院の強みとして、救急救命士が同乗することで、搬送中の状態観察及び、万が一の状態変化にも対応することができます。

体制が整い次第、ご案内させていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



予約方法について

当院では、インターネットによる予約受付を行っております。

これにより、あらかじめID、パスワードを取得していただいている地域医療機関の先生には、インターネット経由でダイレクトに初診予約を取得していただけるようになりました。病院・診療所の診察室で患者さんと一緒に当院の受診日時まで決めていただけるため、何度も連絡していただく手間がなくなります。すでにご利用いただいている先生からは、おおむね好評をいただいております。

ただ、現状ではまだまだ不十分な点もあります。例えばシステム上、診療情報はインターネット経由ではなく従来通りFAXでの送信をお願いしております。

また特定の医師の予約ではなく診療科の予約にとどめさせていただいています。通常の外来診療の間に予約が入るため、予約時間に来院されてもお待ちいただくこともございます。

今後、従来のFAXによる予約とインターネット予約を併用しながら運用してまいります。インターネット予約がより安全で簡単・便利になりますよう、当院医療情報部でシステムの改良を進めてまいりますとともに、運用の改善を図ってまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

インターネット予約のID・PASSの発行希望の場合は、下記メールアドレス（QR①）に病院名・お申込者名・お電話番号・FAX番号・住所を明記の上送付して頂けますと、当院地域医療連携室係よりID・PASSの発行を送付させていただきます。また、インターネット予約へのアクセスはQR②を、インターネット予約のマニュアルはQR CODE③を読み取っていただけますと幸いです。

ID・PASS申込メール

インターネット予約へ

マニュアル

408-comonh@mail.hosp.go.jp

QR CODE①



QR CODE②



QR CODE③



診療科及び地域医療連携室の紹介

診療科の紹介

脳卒中内科・循環器内科・腎臓内科・呼吸器内科
消化器内科・感染症内科・血友病科・血液内科・糖尿病内科・外科消化器外科
肛門外科・呼吸器外科・乳腺外科・心臓血管外科・脳神経外科
整形外科・泌尿器科・総合診療科・産科婦人科・眼科・耳鼻咽喉頭科（頭頸部外科）
小児科・皮膚科・精神科・形成外科・放射線診断科・放射線治療科
麻酔科・リハビリテーション・科口腔外科・臨床腫瘍科・緩和ケア内科

地域医療連携室の紹介

- ① 受診・かかりつけ医のご案内
 - ② 他院への受診や入院、他施設への入所等に関する連絡調整
 - ③ 再診予約変更センター（平日午後1時～午後4時）
 - ④ セカンドオピニオンのご案内・ご予約
 - ⑤ 病床管理
 - ⑥ 医療・看護相談、退院支援・調整に関するご相談
 - ⑦ 市民講座、学術講演会、研修会などのご案内
 - ⑧ 大阪医療センターニュース（ONHニュース）の発行
- *看護・保健に関するご相談は、地域医療連携室が対応致します。
- *医療福祉に関するご相談は、医療相談室の医療ソーシャルワーカーが対応致します。

当院ホットライン

循環器ホットライン：06-6946-3544

循環器疾患24時間対応いたします。

脳卒中ホットライン：06-6946-3543

脳血管疾患24時間対応いたします。

脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内

当院では、主に救急隊からの脳卒中・循環器疾患による患者搬送を受け入れできるよう、脳卒中・循環器ホットラインを設置しておりますが、本ホットラインは救急隊からの要請に限定したのではなく、広く各医療機関様からのご連絡も24時間お受けできる体制を取っています。

貴院かかりつけ患者様あるいは救急搬送された患者様で、脳卒中・心臓・大血管疾患の急変等が起こった際の搬送先として、当院のホットラインをぜひご活用ください。



独立行政法人 国立病院機構

大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14 TEL：06-6942-1331（代）

循環器ホットライン

06-6946-3544

循環器疾患24時間対応します。

脳卒中ホットライン

06-6946-3543

脳血管疾患24時間対応します。

医師及び消防局救急隊からの電話に限ります。

大阪医療センター公式ページについて

大阪医療センターSNSのご登録は下記QRコードをご利用下さい。



ホームページ



YouTube



Twitter



Facebook



Instagram

大阪医療センター

がん相談支援センター

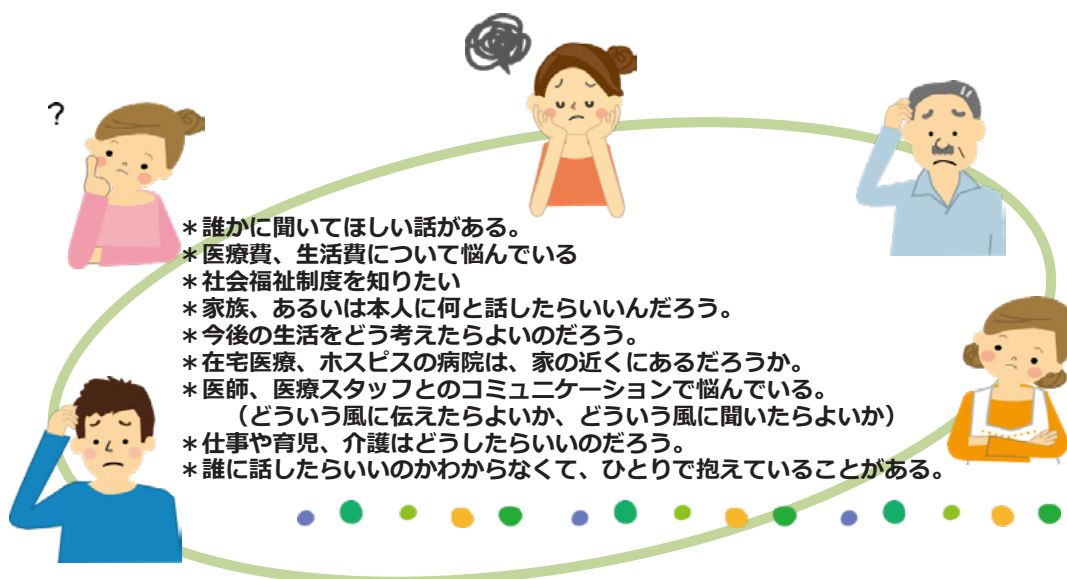
のご案内



患者さん・ご家族の皆さまが、治療を受けながら考えておられること、生活の中で抱えておられるお気持ち、などお話を聞かせていただくことにより、悩みやお気持ちの整理をお手伝いし、解決の糸口を一緒に考えます。
お気軽にご利用ください。

相談料は無料で、相談内容における個人情報厳守いたします。

* ご入院中の方は、ご希望により、病室までお伺いいたします。



相談にあたっては、患者さんやご家族のお考えやお気持ちを尊重し、できるだけみなさまご自身で問題の解決を図れるよう支援をいたします。

■ 大阪医療センター・がん相談支援センター ■

☎ 06-6942-1331 (代表)

【月曜日～金曜日】 9:00～16:00

外来休診日はお休みです

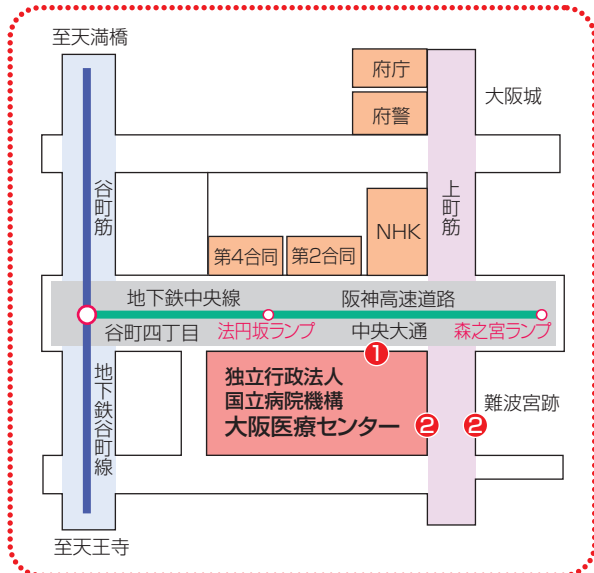
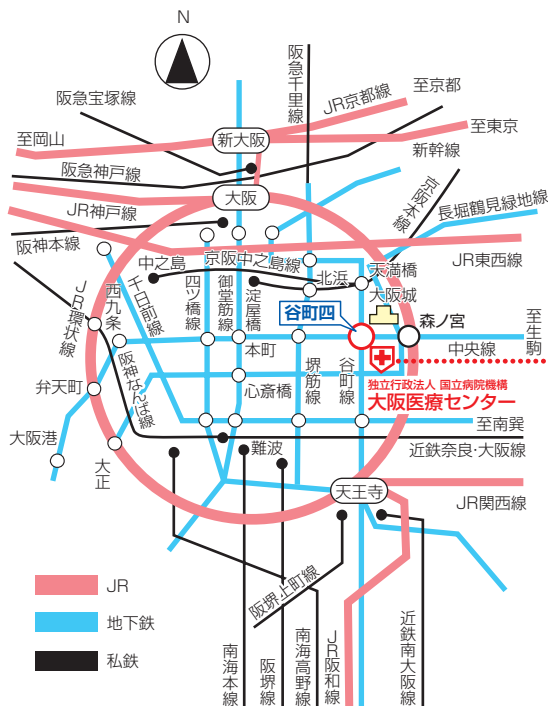
相談対応：看護師・医療ソーシャルワーカー



がん看護相談も
やっています



交通のご案内



① 地下鉄「谷町4丁目」11番出口 ② 市バス「国立病院大阪医療センター」

■地下鉄

谷町線・中央線「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■J R

大阪環状線「森ノ宮」駅下車、地下鉄中央線乗り換え
「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■バ ス

市バス「国立病院大阪医療センター」下車

■マイカー・タクシー

・阪神高速 13号 東大阪線

▼環状線経由の場合

「法円坂」出口 上町筋を右折すぐ

▼東大阪方面からの場合

「森之宮」出口 中央大通り直進、上町筋を左折すぐ

・上町筋と中央大通りの交差点の南西角

・お車の出入口は上町筋です。